

財団法人 堀江オルゴール博物館通信

第 19 号 2010 年 11 月 9 日発行 文責 川原 中田

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1

TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110

http://www.orgel-horie.or.jp/ Email info@orgel-horie.or.jp

AUTOMATA オートマタ 西洋からくり人形



1870年頃 フランス 当館所蔵

● 3 匹の猿の楽団 ●

宮廷楽団の衣装を着た猿がオルゴールの音とともに楽器を演奏する仕草をします。オルゴールと3匹の猿はひとつのゼンマイで動かします。



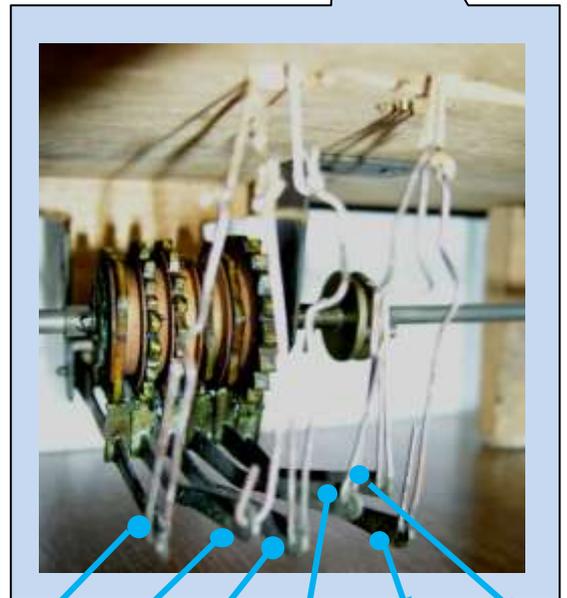
中央のバイオリンを持った猿には6つの動きをさせています。

■▲●動き始めた人形たち▲●■

「オートマタ Automata」という言葉の語源はギリシャ語で、「Automato 自らの意思で動くもの」です。動く人形は、昔から人々の夢でもありました。14世紀には教会の時計塔にジャックと呼ばれる人形が取り付けられ、時間になると飛び出して人々の目を楽しませました。18世紀になると胸を動かして呼吸しているように見せたり瞬きをさせるなどより高度な技術で、より人間らしい動きをする人形を技師達が競うように作りました。技師達はアーティストとも呼ばれ、オルゴールのようにメーカー名ではなく、作品には個人名が記録されました。仕事場は自宅の一室を使い、1人での作業が基本でした。19世紀に鉄道の発達で部品がスムーズに運ばれ、また機械技術も進歩すると、「動く人形」は工場生産でコストを抑えて作られる「子供の為の動くおもちゃ」と、技師の製作による芸術性を追求した「オートマタ」に区別されるようになります。「オートマタ」は、裕福な家庭の応接室に飾られるのに相応しく、人形の衣装も高級感のある素材で丁寧に縫製したドレスやタキシードで、子供が手を触れてはいけない立派な芸術品でした。

参考文献

[The wonderland of music boxes and automata] Daniel Troquet
[Automata the golden age 1814~1914] Christian Bailly



- 1 首の左右作動
- 2 口の開閉作動
- 3 目玉の上下作動
- 4 頭部の上下作動
- 5 弓を持つ右手上下作動
- 6 弓を持つ右手左右作動

2010年11月のプログラムご案内

テーマ「秋の大舞踏会」

10月30日(土)～11月28日(日)

但し11月1日(月) 8日(月) 15日(月) 22日(月)は休館
庭園散策はオルゴールの演奏前、演奏後にどうぞ。

オルゴールと紅葉の庭園散策



10月30日(土)～11月28日(日)

堀江オルゴール博物館の庭園は、大坂城再築時の採石丁場だった場所で、庭園には刻印石や矢穴石が見つかっています。紅葉に覆われた庭園を歴史を感じながらゆっくりご散策下さい。簡単なお飲物もご用意しています。

クリスマスイブニングプログラム

12月18日(土)～12月23日(木)

但し12月20日(月)は休館

夕方5時から夜景を見ながらのクリスマスキャロルとクリスマスオラトリオのオルゴールコンサートです。普段公開していない旧堀江邸の広間にあるエオリアン自動オルガンによる演奏も致します。旧堀江邸から眺める庭園のライトアップもロマンチックです。



オルゴール博物館ニュース



オルゴールと自動バイオリンの演奏会

オペラと歌曲を楽しむ特別演奏会

10月8日(金)～11日(月)に行われた特別演奏会は、オペラファンの方をはじめ、多くの方にご来館頂きました。